

Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局
東 部 教 育 局
〒680-0061鳥取市立川町六丁目176番地
東教発 R8.1.9 No.184
<https://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

一人ひとりが輝く教育へ

局長 蓮佛 俊敬

新年あけましておめでとうございます。令和8年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。干支は十干と十二支の組み合わせで60通りあり、ちょうど還暦と同じく60年で一巡します。前回の丙午である1966年（昭和41年）は、迷信の影響から出生数が大きく減少した年でした。前年の約182万人から約136万人へと、わずか一年で46万人も出生数が減りました。

それから60年。昨年末の予測によれば、2025年の出生数は約68万6千人となる見込みです。もはや迷信に左右される時代ではありませんが、加速度的に進む少子化の波は、私たちの社会や地域、そして教育の現場に、かつてないほど深刻な課題を突きつけています。

しかし、子どもの数が減る時代だからこそ、これまで以上に一人ひとりの存在が輝きを増していることも事実です。現在の教室には、学習のつまずきや発達の特性、心の葛藤、家庭環境の変化など、多様な背景をもつ子どもたちがいます。私たちはこの現状を、単なる「課題」と捉えるのではなく、教育のあり方を進化させる好機と捉えるべきではないかと思います。一人ひとりを丁寧に見取り、つまずきには早く手を差し伸べ、得意なことは思い切り伸ばす。学び方も背景も異なる子どもたちの「違い」を、克服すべき「課題」ではなく、これからの社会を創る「強み」として生かしていくことが求められていると考えます。

「丙」は火が燃え上がる情熱を、「午」は大地を前へ駆ける力を象徴しています。子ども一人ひとりの成長は、学級の空気を変え、学校全体の活力となり、やがて、ふるさと鳥取の未来を牽引する熱や光となります。人口減少社会という未知の時代を生きる子どもたちの未来が、希望に満ちた明るいものとなるよう、教職員の皆様、そして地域の皆様と心をつなげて、力強く教育を前に進めていきたいと思います。

学力向上

子どもが伸びる授業づくりプロジェクト（小学校国語科）

県教育委員会では、令和5年度から「子どもが伸びる授業づくりプロジェクト」を実施しています。1月19日（月）には、鳥取市立稲葉山小学校において、これまでも御指導くださっている樺山敏郎氏（大妻女子大学教授）を招聘し、公開授業及び研究会が行われます。「国語の授業はどうつくればいいのか？」「単元計画を児童とつくるにはどうすればいいのか？」など、授業づくりで悩んでいる先生方がいらっしゃるのではないのでしょうか。本公開授業及び研究会は、皆様の今後の授業改善や研究の取組につながる大変よい機会になると思います。ぜひ御参加ください。

1月19日（月）鳥取市立稲葉山小学校

【公開授業】

◎第2学年 国語科

単元名「だいじなことに気をつけて読み、
分かったことを知らせよう」

教材名「ロボット」（光村図書）

授業者 山村 香織 教諭

◎第3学年 国語科

単元名「読んで考えたことをつたえ合おう」

教材名「ありの行列」（光村図書）

授業者 山口 央樹 教諭

【指導助言】

講師 大妻女子大学 教授 樺山 敏郎 氏

（研修コード）

小中学校課 25015

（申込期限）

令和8年1月13日（火）

申込締切日近です！

全国教員研修プラットフォーム「Plant」からお申込み
ください！

R7子どもが伸びる授業づくりプロジェクト（小学校国語科）

研究発表会（2年目標）

重点校の2年間のプロセス及び成果等について発表します！

10月27日（月）
鳥取市立宝木小学校

11月7日（金）
大山町立大山西小学校

公開授業及び研究会（1年目標）

1月19日（月）
鳥取市立稲葉山小学校

2月9日（月）
米子市立福生西小学校

ポイントを焦点化し、授業改善！
全国学力・学習状況調査の作問を手がけた講師が直接指導！

講師
大妻女子大学教授
樺山 敏郎 氏
（元国立教育政策研究所学力調査官・教育課程調査官）

◆対象者
・小・中・義務教育学校の教職員等
・市町村（学校組合）教育委員会事務局の指導主事等

詳細は後日お知らせします。

【お問合せ】鳥取県教育委員会事務局 小中学校課
〒680-0061 鳥取市立川町六丁目176番地 電話 0857-25-7907

1月の校内授業研究会等の
情報はこちらから →

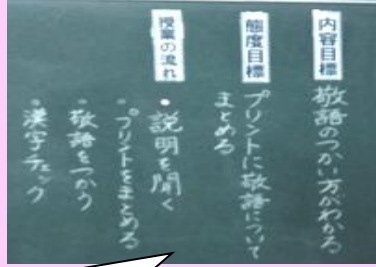


エキスパート教員の
公開授業はこちらから →



次のページへ続きます

次のページへ続きます

[illegible]

ICT機器拡張

例文) ショウナオは
お友達と、おしゃべり
する。日本語を勉強
する。練習しよう。
練習しよう。

例文)

- ① words = 単語
- ② Favorite Food
- ③ When = 何年
- ④ Talking
- ⑤ writing

授業

「めあて」と「流れ」の提示
※学校で統一

「めあて」= GOAL
・何ができればOKなのか分かる

「流れ」
・1~5に沿って、GOALにせまっていくことが分
かる
・授業途中、何をしているのか分かる



友達との 関係

自分の 思い通りに いかない時
同じ出来事でも、人それぞれ感じ方が違う。

- 自分の心の中に
- だれかに伝える
- 自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも聞いて考える
- 気にしない

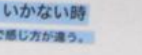
自分の 自分

言葉 行動 態度で
振り返る 機会に

ルールに基づいた
判断・行動

一方的に主張
決めつけ

我慢し過ぎ
合わせ過ぎ
気にし過ぎ
に気をつける



まず何よりできること (ステップ1)	今の自分は？	さらに高めていくこと (ステップ2)	今の自分は？	卒業時の到達目標 (ステップ3)	今の自分は？
①自分のことは自分でできる	C ● A	②自分一人であること、得意なことをする	C ● B	③自分に自信を持ち、大膽にできる	C ● B ● A
④自分と違うところを認めることができる	C ● B ● A	⑤人が得意なことや自分が苦手なことをほめることができる	C ● B ● A	⑥他人の個性や意思を尊重し、その人の長處を認めることができる	C ● B ● A
⑦人を褒めたりしたり、からかったりしない人になろうことを言ったり、したりしない	C ● B ● A	⑧褒めたりしなかったり、感謝する声かけができる	C ● B ● A	⑨他人の気持ちや考えを大膽にできる	C ● B ● A
⑩自分から質問することができる	C ● B ● A	⑪褒められたことに誇りや満足感や嬉しさがある	C ● B ● A	⑫自分の気持ちや考えを伝えられる	C ● B ● A
⑬おはよう、さよならが言える	C ● B ● A	⑭挨拶がうまい、ごめんなさいが言える	C ● B ● A	⑮感謝の気持ちを持ち、素直に「はい」と受け入れられる	C ● B ● A
⑯自分や他人のことや考えを伝えることができる	C ● B ● A	⑰目標の学習や勉強を続け、卒業ができる	C ● B ● A	⑱先生を尊重し、尊敬し、行動できる	C ● B ● A
⑲将来の目標、夢や希望がどれかがある	C ● B ● A	⑳自分の夢や希望に挑戦できる	C ● B ● A	㉑目標ややる気をもって学習に取り組む	C ● B ● A

保護者の皆様へ

「自立活動」の時間って何をするの？

特別支援学級には、通常のクラスにはない「自立活動」の時間があります。

人と関わること
が苦手で…

思い通りの行動
で失敗が…

好きなことに集中
で…

文字を書くのが苦
手で…

「自立活動」の時間

で支援をサポートします

学習面や生活面で「困り感」を経験したり、他の手段でやりくりしたりする方法を、活動を通して身に付け、将来「自分
で自分らしく生きていく力」が社会で人と関わりっていきける力を育てるために継続・定期的に取り組む時間です。

安心できる状況
で、友達と「話す」
関わり活動をする

時間やルールを大
切に活動して「心地
よい」体験を重ねる

いろいろな道具の
使い方を活動
の中で習得する

「書く」以外の自己
表現を習得する（例：タ
ブレット機能の活用
練習）

Road to 高校生！

言葉づかい

時間(遅刻)・2分前

安定させる

合わせる

聞く

敬語

敬語

不慣れなことを出さない
イライラをできるだけ
意見を言わない

全体の動きに
時間(二分前・何の時間か)
退社日に



・鳥取市立河原中学校 ・鳥取市立江山学園 ・鳥取市立桜ヶ丘中学校 ・鳥取市立千代南中学校
・鳥取市立中ノ郷中学校 ・鳥取市立南中学校 ・鳥取市立北中学校 ・八頭町立八頭中学校

9月から実施した第2回の巡回相談では、自立活動で自分の課題に主体的に向かう姿や、学習のねらいに粘り強く取り組む姿に出会い、子どもたちの成長を実感しました。ICTの活用、視覚化や焦点化など、様々な工夫を日々積み重ねてこられた先生方の努力とその成果に胸が熱くなりました。本号で紹介した取組等を、各学級の経営方針や児童生徒の実態等に応じて参考にしてください。今後、学年の仕上げや評価、次年度の教育課程の準備、引継ぎ等が始まります。どのような相談も一緒に考えていきたいと思いますので、気軽に相談員（東部教育局 特別支援教育専門員 吉田(0857-20-3672)）へ御連絡ください。お願いします。